



# すずしろ 22 2022 10 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

## 援農状況

2022 年 9 月の援農集計

	援農時間(h)	参加者数(人)	参加延べ人数(人)	農家数(軒)	年間援農時間(h)	年間参加延べ人数(人)
2022 年 9 月	1,608	64	456	22	16,396	4,504
2021 年 9 月	1,639	60	451	22	15,253	4,092
増/減	-31	+4	+5	0	+1,143	+412



9 月は台風が 7 個も発生しました。幸いに八王子の農家さんには、大きな被害もなく、草取りの他、キャベツやブロッコリーの定植、里芋などの収穫も始まりました。長芋のつるも枯れ始め、ゆずも色付き始めました。いよいよ秋本番、根菜類のおいしい季節が始まるこの頃です。そんな 9 月の援農は 1,608 時間となりました。昨年 9 月を 30 時間ほど下回りましたが、秋野菜の収穫も始まり、いそがしさは続きそうです。援農に参加される方の人数はどの月も昨年を上回り、逆に 1 回あたりの援農時間は減りつつあります。一人あたりの負荷・負担が昨年より減っていると言えます。援農に参加していただいている皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。

気温が下がり暑さの負担が減ったとは言え、寒暖差、気圧の変化による「秋バテ」や「寒暖差疲労」には注意が必要です。さらに、今年の冬はインフルエンザの流行も予測されており、注意が必要な季節となります。引き続き、「健康最優先」の援農にご協力をお願いします。（援農サポータ/北尾）

## 理事会報告

10 月度理事会（10/20(木) 17:30~20:40 台町市民センター。8 名）

- ① さつまいも掘り、NPO フェスタ、いちよう祭りの詳細。
- ② 令和 5 年度通常総会は 2/26(日)。場所未定。
- ③ 改定したパンフレットを印刷する。また、エプロンを作成し、イベントで使用する。
- ④ タンポポファームの作業小屋の修繕を終えた。
- ⑤ 富所農園の電気柵は、12 月~令和 5 年 1 月に設置の予定。

## 落葉を探しています

『落葉は馬小屋の敷物として、馬のベット替わりとして利用することができます。またその後、優秀な堆肥として農家の方にご利用いただいて新鮮な野菜を作っていただいています。落葉→堆肥→安全食料へ！これも私共が出来る SDGs の 1 つではないかと考えております。落ち葉集めにご協力お願いいたします。（お引き取り出来ないものもありますので、予め下記までお電話ください。青い草やたばこの吸い殻は不可です）』



八王子乗馬倶楽部  
(八王子市丹木町 1-501)

問合せ：TEL：042-691-1915  
FAX：042-691-6019

★富所・新富所農園では乗馬倶楽部さんより、堆肥をいただいています。



## 野草あれこれ

イヌビユ（犬覓） ヒユ科ヒユ属

江戸の末に渡来した。茎は軟らかく赤みを帯びる。葉は長い柄をもち菱形でしわが多く、葉先がへこんでいる。花は葉腋ではかたまってつき、枝の先では太く短い穂になってつく。花穂はずっと緑色。同属にアオビユ（花穂が褐色に変わる。熱帯アメリカ原産）やホソアオゲイトウ（花穂は緑色で斜上する。南アメリカ原産）などがある。地下の鱗茎も含め全体が食べられる。スーパーフードと言われるアマランサスはヒユ科ヒユ属の総称。



## 農家さんの紹介

下恩方町 番場正敏

### 『援農から半農半ボランティアにつながる仕組みづくりができれば』

知的障害入所施設の勤務を経て、15年前に就農しました。交代勤務や夜勤が多かった前職に比べ、農業は休みがほとんどありませんが、日の出とともに畑に行き、日の入りに帰ってくる自然に触れる仕事は、気持ちがよく、健康になったことを覚えています。そして、父から農業のノウハウと大変さを教わりました。

8年前に父が他界すると、今までやっていたことができない。労働時間をギリギリまで増やしても生産量・収入は半減してしまいました。いくら頑張ってもひとりでは、一人分の仕事しかできないと思い知りました。その時、すずしろ22と出会うことができました。援農ボランティアさんが一生懸命手伝ってくださったおかげで、生産量も復活できました。もっと嬉しかったことは、援農の方とおしゃべり、人生の先輩からのアドバイスなど、楽しい時間を一緒に過ごすことでした。社会との接点が増えたことが、とてもありがたかったです。

そして、今、家族と援農ボランティアの方、近所の方、友達、学校の生徒、ニートの方、障害者施設の利用者の方、時にはお客様に助けをいただき、私は農業を続けていけています。番場農園は、ボランティアさんで成り立っている農園なので、私ができることは、援農の方が手伝いにきて、「仲間に会えて良かった。楽しかった。少し勉強になった



な。自然に触れて気持ち良かったな」など、番場農園に援農に行くと良かった。とだけ思っていたら心かげることです。そして、これから未来、番場農園に援農に来てくれた人が新規就農者になったり、自分の畑や市民農園で育てた野菜を販売できるようになったりと、援農から半農半ボランティアにつながる仕組みづくりができれば、楽しいなと思っています。

## イベントのお知らせ

### さつま芋掘り

10/29 (土) 雨天の場合 11/5 (土)

詳しくは、9月報をご覧ください。

### NPO フェスティバルに出店

11/3 (木) 東京たま未来メッセ (八王子市明神町三丁目 19 番 2 号)

★販売のお手伝いを募集します (2 人)

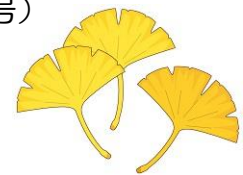
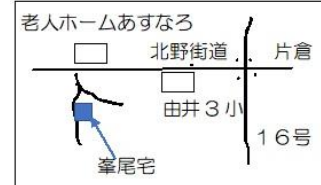
### 八王子いちよう祭りのわくわく広場コーナーに出店

11/19 (土)、20 (日) 長房市民センター河川敷

★販売のお手伝いを募集します (各日 2 人)

以上 3 つのイベントの問合せ：佐藤瑞恵 Email: [mizue06230415@yahoo.co.jp](mailto:mizue06230415@yahoo.co.jp)

ショートメール 090-4912-2117



### 映画「百姓の百の声」上映の紹介

11/5 (土) よりポレポレ東中野にてロードショー公開

私たちは毎日当たり前のように農作物を食べていますが、それを作る農家が見えにくくなっています。きちんと農家のことを知りたいたと、柴田昌平監督が足かけ 4 年かけて全国の農家を訪ね、その叢智と向き合いました。12/10 (土) からは横浜のジャック&ベティでも上映します

☆映画『百姓の百の声』公式HP

>> <https://www.100sho.info/>

監督：柴田昌平

制作：プロダクション・エイシア

制作協力：農文協 (農山漁村文化協会)

